

林道橋梁（4 橋）塗装塗替設計業務委託
特記仕様書

総 則

第 1 条 適用範囲

本特記仕様書は、魚沼市（以下「発注者」という。）が実施する林道橋梁（4 橋）塗装塗替設計業務委託（以下「本業務」という。）に適用するものとする。

業務の実施に当たっては、本特記仕様書によるもののほか、魚沼市委託契約条項（令和 4 年魚沼市告示第 1 5 9 号）、「林道規程」、「林道技術基準」、「新潟県林業土木業務委託標準仕様書（調査・測量・設計）」及びこれらに関連する図書等によるものとする。

第 2 条 業務目的

本業務は、林道中之岐線における灰ノ又橋・西ノ沢橋・藤原沢橋・山毛櫓沢橋の 4 橋について、別途実施した橋梁塗膜調査により有害物質（PCB）を含有した塗料の使用が明らかとなったため、塗り替えに向けた検討ならびに工事発注に必要な図面作成及び数量計算を行うと共に、施工方法や施工時の留意点について取りまとめることを目的とする。

第 3 条 業務の対象及び履行場所

本業務の対象及び履行場所は、別紙 令和 6 年度 林道橋梁塗装塗替設計業務一覧 に示す通りとする。

第 4 条 履行期間

履行期間は、契約締結日から 1 8 0 日間とする。

第 5 条 管理技術者

管理技術者は、標準仕様書第 3107 条の定めにかかわらず、下記①及び②を満たす者とする。

①下記のいずれかの資格を有することとする。

管理技術者は、本業務を遂行する上で技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する技術者で、建設部門（選択科目：鋼構造及びコンクリート）の技術士、もしくは R C C M（鋼構造及びコンクリート）を有する者でなければならない。

②下記の実務経験を有することとする。

平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 5 年間に、魚沼市の所管する林道橋等の補修設計業務、若しくは国土交通省、都道府県等の所管する道路橋の補修設計業務に係る管理技術者、照査技術者、担当技術者として従事した経験とする。なお、対象とする橋梁は、第 3 条に掲げる橋梁と同規模程度以上とし、橋長 15m 以上の橋梁を含むものとする。

第 6 条 業務計画書の作成

受注者は、業務計画書を作成し、契約後遅滞なく発注者に提出しなければならない。

- | | | |
|----------------------|-----------|----------|
| (1) 業務概要 | (2) 実施方針 | (3) 業務工程 |
| (4) 業務組織計画 | (5) 打合せ計画 | |
| (6) 成果物の品質を確保するための計画 | | |

- (7) 成果物の内容、部数 (8) 使用する主な図書及び基準
(9) 連絡体制(緊急時含む) (10) 使用する主な機器 (11) その他

前項の提出書類について、発注者が不適当と認め受注者に協議したときは、受注者はこれに応じなければならない。

業務内容

(業務内容)

第7条

本業務の内容は、以下に示すとおりとする。なお、以下の項目以外の作業の必要性が生じた場合は、別途監督員と協議を行うものとする。

(1) 業務計画書作成

業務の目的、内容を把握した上で、業務全体の設計内容を計画した業務計画書として取りまとめ、監督員に提出するものとする。

(2) 設計準備・計画

①既存資料の収集・整理

業務に先立ち、点検資料等の貸与資料や既存の関連資料を収集し、整理を行う。

②現地踏査

既存資料を基に現地踏査を行い、補修設計の計画立案に必要な基礎的状況を把握する。また、詳細調査時に必要となる現場状況（現況交通状況、周辺環境状況、施工ヤード等）の把握を行った上で、既存資料との整合性等を確認する。

③現地詳細調査（外観計測）

一般図作成を目的とした外観計測を行う。なお、外観計測の実施にあたっては、橋梁点検車（BT-200）を用いた調査を想定する。

④一般図作成（現地計測による復元）

現地詳細調査で得た資料に基づき、現況形状を図面に復元し、補修設計に必要な図面を作成する。

(3) 塗装塗り替え設計

有害物質であるPCBが確認されたことから、塗装塗り替え工事の発注に必要な塗装面積の算出、足場工計画、塗装種類の選定等の設計（対策工法の検討、設計図作成、数量計算）を行う。

塗装仕様は塗装の劣化状況に合わせて決定し、劣化しやすい桁端部や下フランジ、添接部等については別途検討を行い、現橋図に基づいた塗装構成図を作成する。

特殊な防食方法等の比較が必要な場合は監督員との協議により別途、塗装仕様の検討を実施する。

塗装設計を進めるにあたっては、塗装塗膜調査における有害物質（PCB）を含有する試料採取の分析結果を踏まえて実施すること。

(4) 施工計画

有害物質（PCB）を含む塗装の塗り替えのため、工程計画、施工要領、施工計画図の作成を行う。施工計画の立案に際しては、占有物件、近接構造物、環境対策、安全対

策などに留意し、足場工等の仮設備を検討すると共に資材等の搬入路を検討する。

(5) 概算工事費の算出

「(2)」及び「(3)」、「(4)」を基に、各橋梁ごとに概算工事費を算出する。また、低濃度 PCB・鉛含有塗膜処分に伴う、保管容器・運搬・処分の概算費用を算出する。

(6) 報告書作成

本業務の成果について設計内容等を照査の上、報告書としてとりまとめる。

(7) 関係機関協議資料の作成

当初設計では見込んでいない。ただし、本業務着手後に関係機関協議の必要が生じた場合は、別途、監督員と協議を行うものとする。

第8条 打合せ協議

本業務の実施にあたり、打合せ協議は「業務着手時」「中間1回」「完了時」の計3回を予定するものとし、「業務着手時」および「完了時」には管理技術者が立合うものとする。

第9条 貸与資料

- ・既存の定期点検の記録等
- ・PCB 塗膜調査結果
- ・林道台帳
- ・その他受注者が必要とし、監督員が認めた資料等

第10条 成果品

本業務の成果品は以下のとおりとする。

- | | | |
|-------------------------|-----|----|
| (1) 林道橋梁(4橋) 塗装塗替設計業務委託 | 報告書 | 1部 |
| (2) 上記、電子データ(CD-R) | 1式 | |

第11条 疑義

受注者は発注者と緊密な連絡をとり、円滑な作業の進捗を図るとともに、作業段階ごとに協議を行わなければならない。また、受託者は、本仕様書及び設計書等に疑義が生じた場合、ただちに委託者と十分な協議を行い、その指示に従わなければならない。

第12条 その他

- (1) 本業務に関する事項については機密を厳守し、無断で第三者に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- (2) 本仕様書は設計にあたっての基本的な前提条件を示したものであり、記載のない事項や疑義が生じた場合については、監督員と協議を行うものとする。
- (3) 業務終了後、提出された成果品に誤りがあった場合、受託者は責任を持って速やかにその誤りを訂正しなければならない。

以 上